

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二二（令和四）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈特別進学コース自己推薦〉

国語

二〇二二（令和四）年一月十二日（水）

九時二十分～十時十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

バイオテクノロジー(生命工学)の発達によって、医療技術がこれまでになく進歩を遂げている一方、普通に機能する身体を、より自分にとって望ましいものに作り変えていくこうとする「エンハンスメント」(「強める」、「増強する」の意味)の倫理的な問題も指摘されている。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(島蘭進『いのちをつくってほしいですか』より)

問一 部 a 「不可分」・ b 「念頭において」の意味として最もふさわしいものを、次の中から選び記号で答えなさい。

a 「不可分」

- ア 一致することが難しく、正反対であること
- イ 分けられないほど、密接に結びついていること
- ウ あまりに隔たりすぎていて、比較できないこと
- エ 根本は一つであり、同類とみなしてもよいこと

b 「念頭において」

- ア 常識として当然であり
- イ 常に心に留めて忘れず
- ウ こだわってゆずれず
- エ 常に予測をしながら

問二

I

III

に入る語としてふさわしいものを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア むしろ イ たとえば ウ ところで エ しかし オ とりわけ カ さらに

問三 部①「何か大事なもの」とはどんなもののことを言っていますか。本文中の語句を用いながら、四十字以上五十字以内で説明しなさい。

句読点も一字とし、以下の設問でも同様とします。

問四

部②「この『授かりもの』という感覚」とはどのようなものですか。次の説明文の

A

B

に入る語句を、()

内の条件に従って本文中から抜き出して答えなさい。

A (十四字)

でも、「幸せ／不幸」というような表面的な価値観や感覚を超えた次元で、

B (十二字)

として喜んで受け入れるという感覚。

問五 部③「偉大な学びの場だと言える」について、なぜそのように言えるのですか。その理由の説明としてふさわしいものを次の中から一つ

選び、記号で答えなさい。

- ア 宗教とは違い、予期せざるものを受け入れる姿勢を養うことができる、理想的かつ唯一の場所だから。
- イ 新しいのちの発生の場として、生まれてきた子どもに自分の思いを直接注ぐことができるから。
- ウ 人が人とともに生きるとき、思い通りにならないことも受け入れて認め合うことで、成熟できるから。
- エ 孤立を深める現代社会において、自分を受け入れて励ましてくれる家族の力が見直されてきたから。
- オ 人類の共同生活の基盤となる場所として、思い通りにならなくともそこが自分の戻るべき場であるから。

二

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(内海隆一郎『瀬の音』による)

問一 ——— 部①「若い事務員」・———— 部②「五十年代半ばの組合長」は、「森田さん」のことをどのような人物と考えていますか。次の中からふさわしいものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア きちんと仕事をしてくれないので、困った老人だとあきらめている。
- イ 自分には厳しいのに子供には優しく接するので、ひどく嫌っている。
- ウ この男こそきつと何かを知っているに違いないと、強く疑っている。
- エ かつての釣り人としての力量を知っていて、今でも一目置いている。
- オ 年寄りなので子供に甘くするのではないかと、疑いの目で見ている。
- カ 質問してはみたものの、どうせ何も知らないだろうと確信している。

問二 ——— 部③「森田さんは、下流へ行くのが辛くてならない」について、なぜ辛いのですか。その理由を書きなさい。

問三 ——— 部④「冷笑されそうな代物」について、どのようなものことですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ほめられそうなほど、工夫されたもの
- イ うらやましがられるほど、豪華なもの
- ウ ばかにされそうなほど、粗末なもの
- エ 怒られそうなほど、意地の悪いもの
- オ 警戒されそうなほど、よくできたもの

問四 本文中の□で囲まれた箇所について、ここでの子供たちの心情の移り変わりを以下の語を用いて説明するとすれば、どのような順序になりますか。次の記号を適切に並べ替えて答えなさい。

- ア 恐怖
- イ 安心
- ウ 平静
- エ 好意
- オ 困惑

問五 ——— 部⑤「つけっ放しのテレビが森田さんを迎える」について、ここで用いられている表現技法を書きなさい。

問六 ——— 部⑥「森田さんは、愉快そうに笑っている」について、なぜ「愉快」のですか。本文の内容を踏まえて、四十字以上五十字以内で説明しなさい。

問七 次のやり取りは、本文中の「森田さん」について生徒たちが話し合ったときの記録です。「森田さん」の人物像を正しく読み取れている生徒は

誰ですか。ア～オの記号で答えなさい。

- ア 生徒A…こういうおじいさん、うちの近所にもいたよ。けっこうおつかなくて、誰も近寄れないんだよね。
- イ 生徒B…確かに一見無愛想そうだとつつきにくいかも。でも子供たちのことを思いやる一面もあるみたいよ。
- ウ 生徒C…なんと言っても自然が一番好きなようだね。魚たちを守るために、務めを果たそうとしているな。
- エ 生徒D…組合からのプレッシャーで、すっかりまいてるみたい。組織に逆らうことはできないんだね。
- オ 生徒E…結構ケンカっ早い性格なのかな？ 同僚と激しい言い争いになっていて、理解者は誰もいないみたい。

【三】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部改めたところがあります。)

今は昔、木こりの、やまもり※山守に斧を取られて、わびし、心憂しと思ひて、つらみ頬杖つきてをりける。山守見て、「※さるべき事を申せ。取らせん」といひければ、

A あ悪しきだになきはわりなき世間よのなかによきを取られてわれいかにせん」と詠みたりければ、山守返しせんと思ひて、「うううう」と呻うめきけれど、※えせざりけり。さて斧返し取らせてければ、うれしと思ひけりとぞ。人はただ歌を構へて詠むべしと見えたり。

(『宇治拾遺物語』より)

【和歌現代語訳】

みすばらしいものでさえ、この世に無いというのは何とも耐え難いことであるのに、よいものを取られてしまって、私はどうしたらよいのだろう。

※山守……山の番人。関係者以外の樹木の盗伐を監視する者。

※さるべき事……ふさわしい事。

※えせざりけり……することができなかつた。

問一 「山守」に斧を取られた「木こり」の心情を表す箇所を本文中から探し、書き抜きなさい。書き抜きたい箇所に句読点があれば、それも含めること。

問二 ——部「さるべき事」とは、ここではどのようなことを指していますか。ふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自然に関する知識
- イ 丁寧な謝罪
- ウ 納得できる理由
- エ 気の利いた発言

問三 Aの和歌では、掛詞(かけことば)という表現技法が用いられています。掛詞にあたる語を書き抜き、その語に込められた二通りの意味を、例にならって書きなさい。

(例) まつ↓松・待つ

問四 本文の内容を説明した次の各文について、正しければ○を、誤っていれば×を、解答欄にそれぞれ書きなさい。

- ア 自分の歌を「山守」から非常にほめられたことで、「木こり」は喜んだ。
イ 「木こり」の和歌がすばらしく、「山守」は上手く返答ができなかった。
ウ 生計を立てるために歌を作ることは必要ないので、特に学ぶ必要はない。
エ 筆者はこの出来事に感心し、歌を詠むことに一定の価値を見出している。
オ 「木こり」は歌を詠む素養がないために、大切な斧を失うことになった。

四

①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 生活費をカセぐ。 ⑥ 街中に潜む。
② ジュウナンな考え方。 ⑦ 発言を悔いる。
③ ムジュンを指摘する。 ⑧ 資料を閲覧する。
④ 犯人がトウボウする。 ⑨ 遅延の証明書。
⑤ 充分なスイミンを取る。 ⑩ 秩序を保つ。

< 以 下 余 白 >

